

令和5年度府中市立南町小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①目的意識をもち学習に取り組むことのできる児童。
- ②自他の意見を交流させ、学びを深めることのできる児童。
- ③粘り強さだけでなく、自己調整力も働かせ学べる児童。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①授業の導入を工夫したり、めあてを明確にしたりすることで、学びの動機付けを行い、自己効力感や意欲を高める授業を行う。
- ②授業内で、考えを交流する場面を取り入れた授業を行う。
- ③振り返りを行い、何が分かって何が分からないのかを児童が理解し学びを調整できる授業を行う。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

めあてを意識して、授業で自分が何を学ぼうとしているのか目的意識を明確にする。
自分の考えを正しく言語化したり、図に表したりして友達と意見交流を活発に行う。
1時間の学びを振り返り、理解できていない部分は質問したり家庭学習で解決したりしようとする。

(2) 目指す授業像

児童が意欲を高め、目的意識を明確にできる導入となるように工夫する。
児童が考えを広げ深めることができるように、様々な形での交流場면을積極的に取り入れる。
振り返りを通して、児童の理解度を把握するとともに、次時の活動に反映させる。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	言語活動を通して、人と伝え合う力を高めていく。単元の中で、自分の考えを伝える交流の時間を設ける。また、読書活動を推進する。	音楽	学習内容に通ずる導入や、学習の流れが見通せるワークシートを工夫する。歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞、どの領域においても、児童が関わり合って学ぶ場面を設定する。
算数	算数の問題発見・解決の過程を大切に、生活に関連付けて捉えたり理解したりする活動を充実させ、児童の算数を学ぶ意欲の向上を図る。	図画工作	視覚や触覚などの感覚を十分に働かせる時間を確保し、「発想力・表現力」の向上を目指す。また、自己選択や自己決定が出来るような場面を多く設定し、考える力を育成する。
社会	学習問題の予想や答えをかく活動を大切にす。資料の読み取りや気付いたことを共有する時間を設定する。	家庭	実習や製作を行うときに、材料・手順・段取りを考える機会と時間を設ける。作品を見合う時間を設定し、友達の感想や考えを知る機会を多くする。
理科	観察・実験・飼育・栽培などの直接体験を通して科学的な見方や考え方を養い、主体的・対話的な問題解決活動を充実させる。	体育	1単位時間の学習の流れを確立し、「する」「見る」「支える」「知る」といった運動との多様な関わり方を通して「友達と関わる喜び」「できる喜び」を実感できる学習を目指す。
生活	具体的な活動や体験を大切に、身近な人々との関わりについて気付かせ、自然を大切にす。心情を育てていく。特に学年を隔てた交流を大切にす。	外国語	外国語の基本的な表現に慣れ親しみ、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を扱いながら、発達の段階に応じてコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

社会や理科の学習等の導入時、資料をクラスルーム等に投稿して課題を見出したり、各教科でジャムボード等を活用して意見の交流をしたりするなどしていく。また、体育の学習の行う際、家庭学習や授業で師範動画等の学習資料を見ながら、ポイントを学んだり、自分の課題を見出したりできるようにする。学年に応じた使い方ができるように系統だった指導をする。